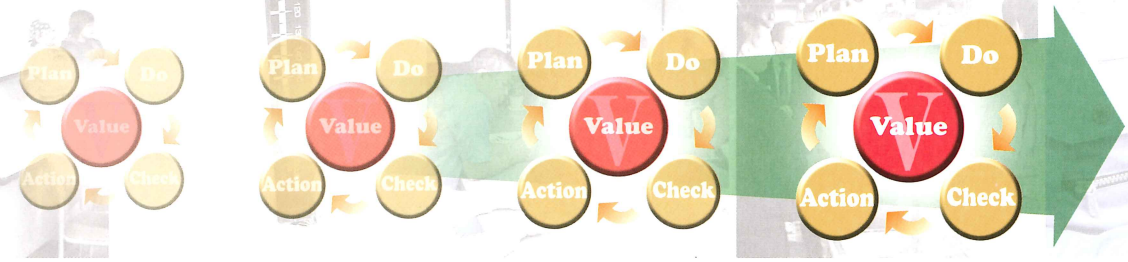
「安全・信頼・品質」中央総業の自信

独自の品質管理基準に準拠された施工手順・施工方法・PDCA+V意識（Plan・Do・Check・Action=Value）他、安全管理・言葉使い・お客様への対応等各現場において、検査を実施しております。
品質管理基準は、職人個々に対する導入研修、フォローアップ研修や現地でのOJT教育、その他70項目に亘る厳しい品質管理の目が日々職人に注がれており、現場で抜打ち検査の結果、万一不良施工が発覚した場合は、その場で引張試験の実施や是正方法などについて、即座にご報告、是正いたします。これはCQCS（Chuo sogyo Quality Control System）に基づく社長室直轄部署で、毎週1回の品質管理是正報告会の開催など全社的に品質管理向上のため取組んでおります。

企　画 → 構想設定 → 詳細設計 → 試　打 → 施　工



DR1　DR2　DR3　DR4

DRのポイント

①役割分担:経営メンバーと現場メンバーを分ける　②厳格化:必ず品質管理部が行う　③記録:必ず記録をとる文章化する事により作業割振りを明確にさせる　④PDCAを回す:指摘された問題をチェックする

品質管理部のある中央総業は安心・安全。

PDCA+VやOJTの実践による作業の効率化、信頼のある作業。

品質マネジメントシステムを構築、継続的に改善。

シックス・シグマ手法を基本ベースにし、PDCA+Vのサイクルを発展させMAICを活用します。この大きな特徴はM（Measurement）、A（Analysis）測定、分析に主を置いたもので、このプロセスの持続こそが、品質管理にとって重要な鍵となります。

1.Measurement [測定]
2.Analysis [分析]
3.Improvement [改善]
4.Control [改善定着の管理]

- 標準作業の定着
- 品質管理に伴う、書類の作成
- 現場における標準作業を確認・指導
- 作業内容の確認（穿孔径・穿孔長・出寸法・薬液量・引張試験）